



# 関西経済レポート(6月号)

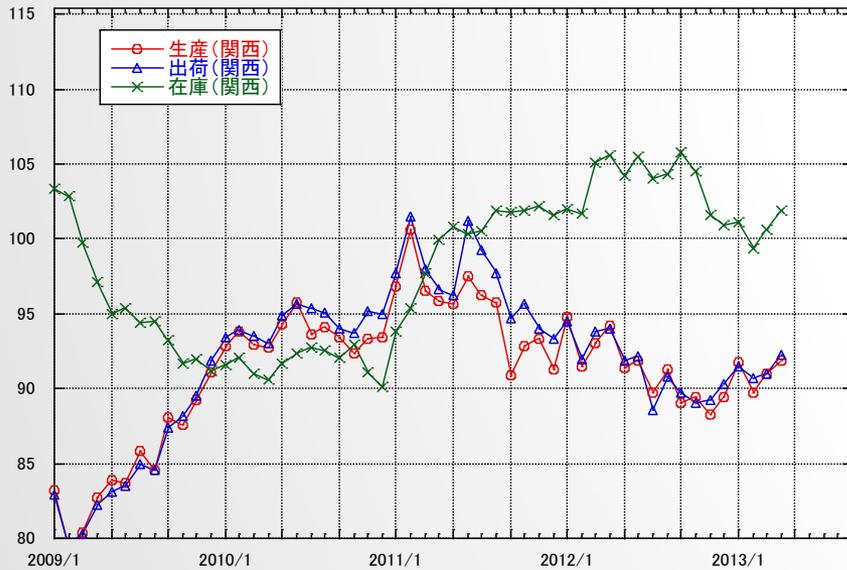
- ➡ 生産は引き続き上昇傾向が続いている。
- ➡ 輸出は米国・アジア向けを中心に回復も、EU向けは停滞している。
- ➡ 消費者センチメントは依然高水準だが、物価高騰から低下懸念も。
- ➡ 個人消費は弱い動きながらも、今後に期待。住宅は好調。
- ➡ 労働市場は総じて改善傾向にある。
- ➡ 公共投資は順調に回復し、建設工事も引き続き堅調に推移。
- ➡ 中国経済は生産・輸出入とも減速が目立つが、消費は好調を維持。

## ～目次～

生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6
中国経済動向①	7
中国経済動向②	8

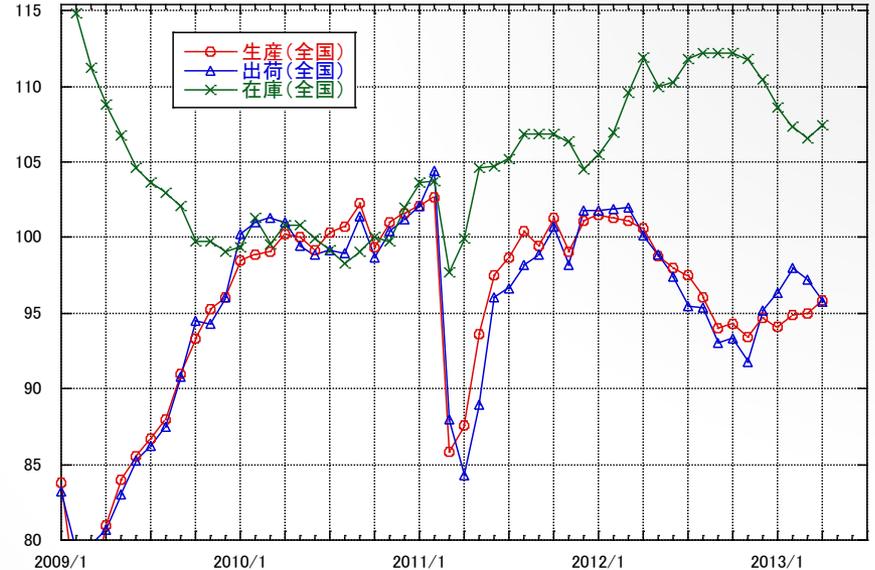
# ～生産～

鈇工業指数の推移（近畿・2013年4月まで）、2005年=100



（データ出所：「近畿経済の動向」（平成25年6月18日公表分）、近畿経済産業局）

鈇工業指数の推移（全国・2013年4月まで）、2010年=100



（データ出所：「鈇工業指数」（平成25年6月28日発表）、経済産業省）

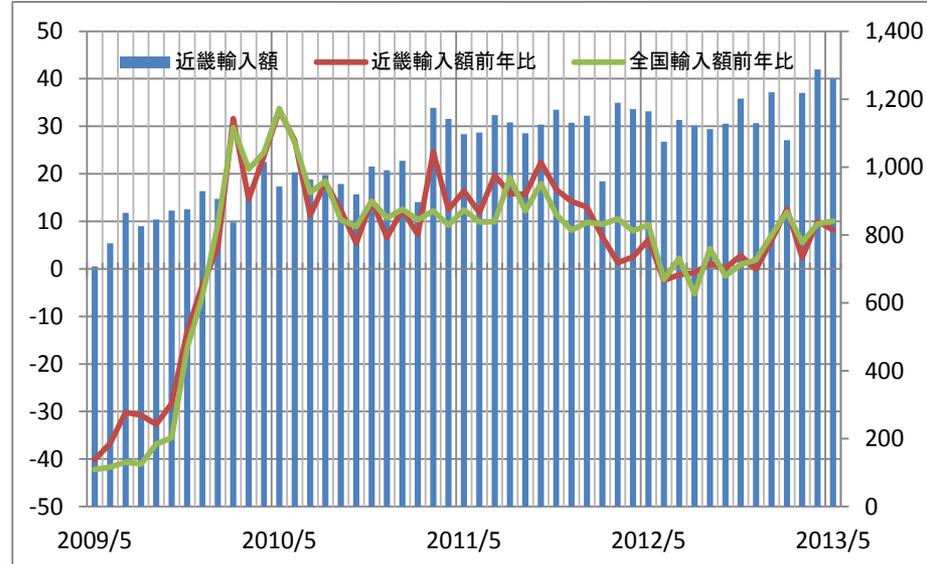
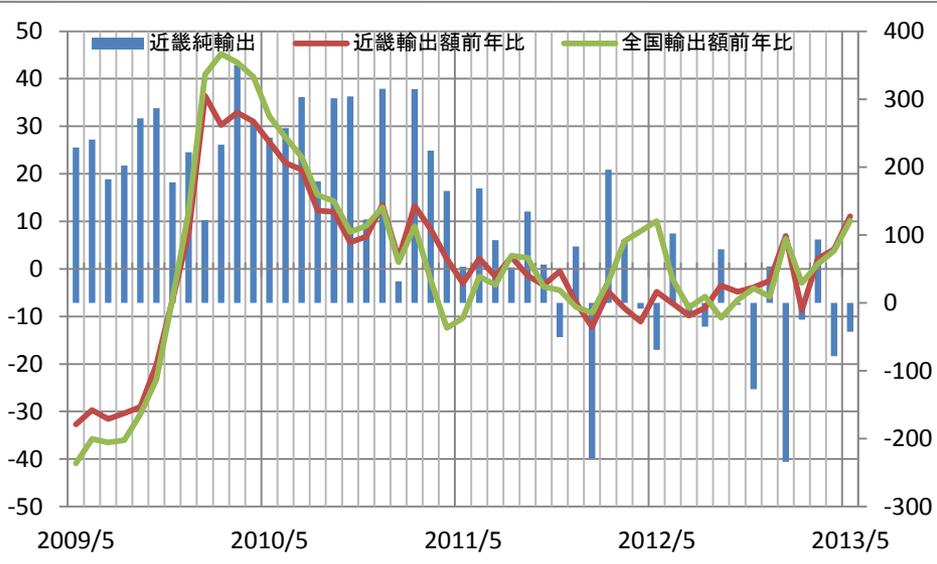
- 近畿における4月の鈇工業生産指数（確報値：季節調整済）を見ると、生産は91.9で前月比+1.0%、出荷は92.3で同+1.4%、在庫は101.9で同+1.3%といずれも2カ月連続の上昇。
- 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業（除. 鋼船・鉄道車両）、窯業・土石製品工業等が生産の上昇に寄与した。一方で、電気機械工業、情報通信機械工業の生産水準が下落へと転じ、一般機械工業は引き続き下落している。
- 前月に引き続き、生産・出荷・在庫ともに上昇傾向が続くも、一般機械工業や電気機械工業等の動向には注意が必要。

- 今回より、全国の鈇工業生産指数は基準年が2010年に変更となった。データは遡及改定されたものを掲載している。
- 全国における4月（確報値：季節調整済）の鈇工業生産指数は、95.9で前月比+0.9%と3カ月連続の上昇、出荷は95.8で同-1.4%と2カ月連続の低下、在庫は107.9で同+0.8%と8カ月ぶりのプラスとなった。
- 全国では業種別に見ると、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、その他工業等が上昇した。一方で、化学工業、情報通信機械工業等が低下した。
- 生産は緩やかな回復を続けている。しかし、出荷の低迷が続いているので、生産の回復基調の持続性については、注視する必要がある。

# ～輸出入～

輸出（右、10億円）・前年同月比（左、%）（2013年5月まで）

輸入（右、10億円）・前年同月比（左、%）（2013年5月まで）



（データ出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」（平成25年5月分（速報値）、6月19日発表）、大阪税関調査統計課）

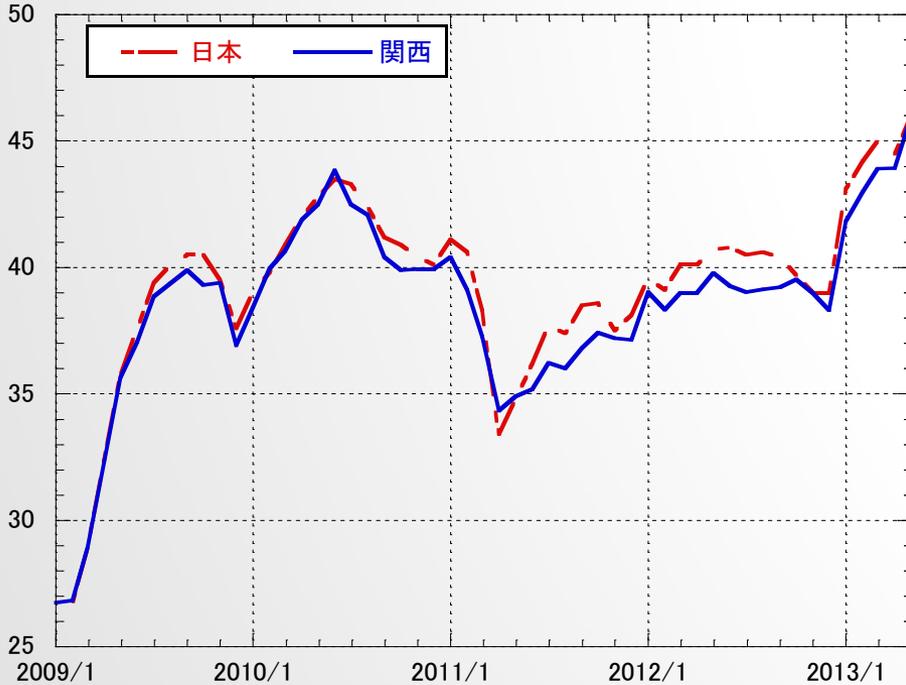
（データ出所：「財務省貿易統計」（平成25年5月分（速報値）、6月19日発表）、財務省）

- 近畿圏における5月の輸出額（速報値）は1兆2,169億円、前年同月比+11.1%と3カ月連続の増加。
- 半導体等電子部品、科学光学機器、鉱物性燃料が大幅に増加。
- 全国の5月の輸出額（速報値）は5兆7,676億円、前年同月比+10.1%と3カ月連続の増加。円安の影響もあり、輸出は近畿、全国共に大きく改善してきている。
- 地域別では、アジア（前年同月比+12.6%）、中国（同+11.5%）、米国向け（同+18.8%）輸出は増加するも、EU向け（同-7.3%）は減少。前月に引き続き、全国、近畿とも米国向け輸出の伸び率は高水準で推移も、EU向け輸出の伸び率は減少傾向が続く。

- 近畿圏における5月の輸入額（速報値）は1兆2,596億円、前年同月比+8.2%と5カ月連続の増加。輸入は引き続き高水準で推移。
- 通信機、衣類及び同付属品、半導体等電子部品、が大幅に増加。
- 全国の5月の輸入額（速報値）は6兆7,616億円、前年同月比+10.0%と7カ月連続の増加。

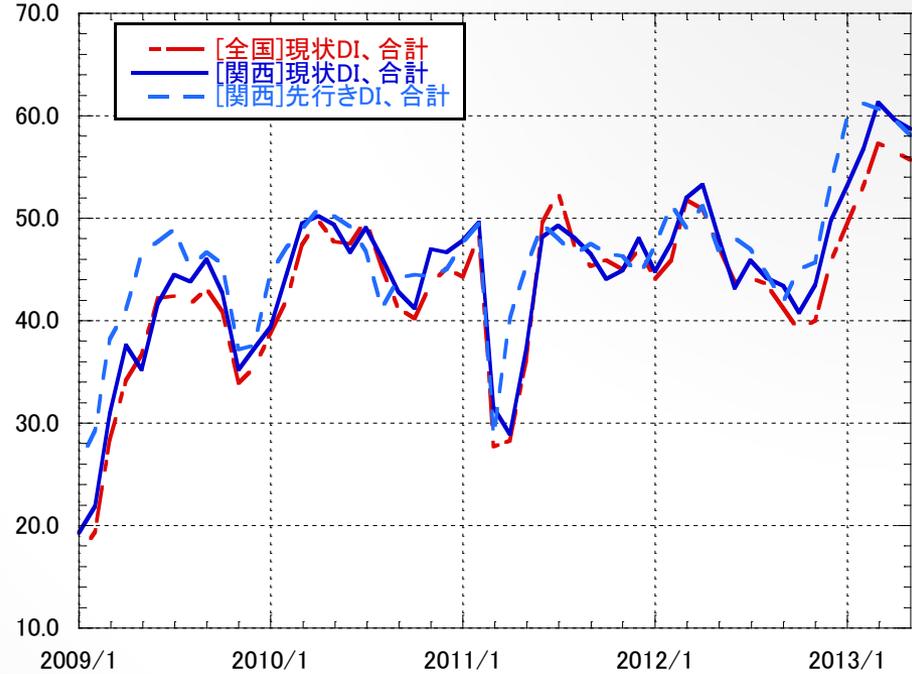
# ～消費者センチメント～

消費者態度指数(原数値、2013年5月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成25年6月10日公表)

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性、2013年5月まで)



(出所) 内閣府(平成25年6月10日公表)

- 5月の消費者態度指数(原数値)は前月比+2.1ポイント上昇し46.0。5カ月連続のプラス。
- 内訳：「暮らし向き」同+2.7ポイント、「収入の増え方」同+2.6ポイント、「雇用環境」同+2.2ポイントと大幅に上昇。「耐久消費財の買い時判断」も同+0.8ポイント上昇。
- 全国5月の消費者態度指数(季節調整値)は45.7と同+1.2ポイント上昇。
- 消費者のセンチメントは12月(38.3)を底として大幅に上昇している。

- 5月の現状判断DIは前月比-0.9ポイントの58.7と2カ月連続で低下。
- 円安に伴う消費財価格の上昇によるマイナスの効果が指摘されている。
- 全国の現状判断DIも同-0.8ポイントの55.7と2カ月連続で低下。
- 関西の先行き判断DIは同-1.5ポイントの58.1と3カ月連続で低下。円安による諸物価の上昇から消費マインド低下の懸念が高まっている。
- 全国の先行き判断DIは同-1.6ポイントの56.2と、2カ月ぶりに低下している。

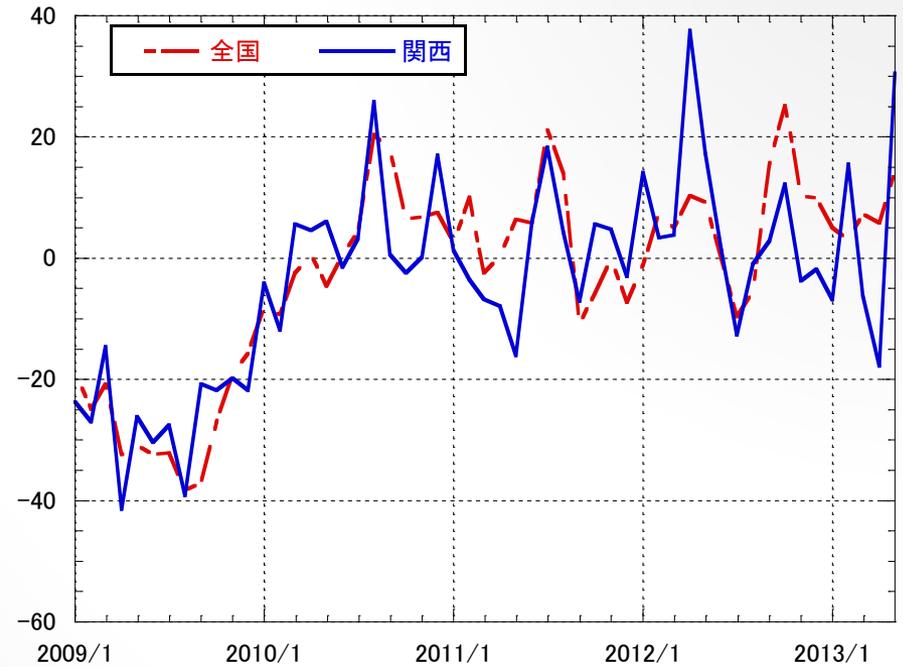
# ～個人消費・住宅～

大型小売店販売額（前年同月比：％、2013年4月まで）



(注) 福井県を含む。  
(出所) 近畿経済産業局(平成25年6月4日公表)

新設住宅着工(前年同月比：％、2013年5月まで)



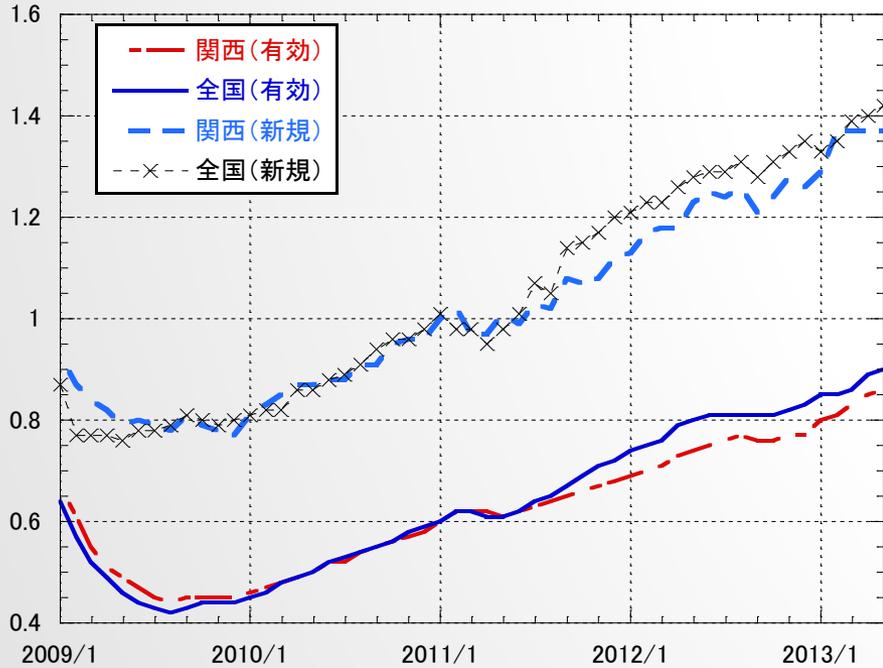
(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成25年6月28日公表)

- 4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-0.9%と2カ月ぶりのマイナス。
- 百貨店は同+1.1%と6カ月連続のプラス。
- 一部店舗の増床・リニューアル効果があったものの、天候不順で春物衣料が不調だった(近畿経済産業局)。
- グランフロント大阪開業(4月26日)、あべのハルカス近鉄開業(6月13日)等を中心に、今後の関西の消費に期待。
- 全国の4月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-1.0%。2カ月ぶりのマイナスとなった。

- 5月の新設住宅着工戸数は12,403戸。前年同月比+30.6%と3カ月ぶりに上昇。利用関係別にみると、貸家が同+67.8%と大幅に上昇。持家は同+17.7%、分譲も同+17.0%と上昇。
- 全国の新設住宅着工戸数は同+14.5%。9カ月連続で上昇。
- 5月のマンション契約率(出所：不動産経済研究所「マンション市場動向」)は78.2%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安とされる70%を15カ月連続で上回る。
- 消費増税による駆け込み需要が顕在化し、マンション市場は絶好調。

# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2013年5月まで）



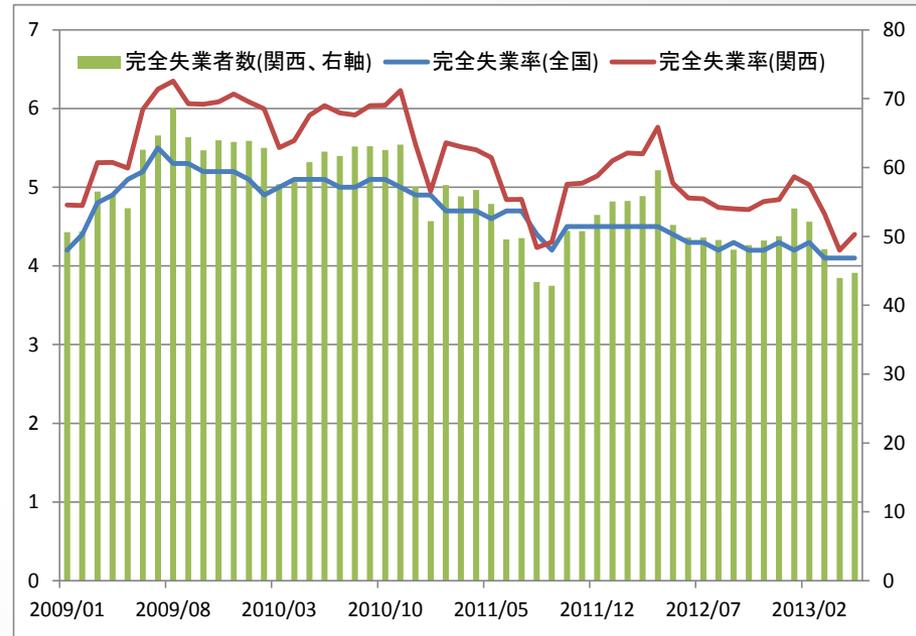
(出所) 厚生労働省

地域別有効求人倍率2013年5月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
5月	0.90	0.70	1.01	0.91	0.85	1.02	1.11	0.86	1.02	0.95	0.74
4月	0.89	0.68	1.00	0.88	0.83	0.99	1.07	0.85	0.99	0.94	0.73

- 5月の近畿の有効求人倍率は0.86倍、前月から0.01ポイントの小幅改善。2008年8月リーマン・ショック前の水準(0.86)に回復。
- 全国は0.90倍で、同0.01ポイントの改善。結果、2008年6月以来の0.9台に回復。
- 地域別では、自動車の好調を受け東海が1.11倍と高水準。また建築など復興需要を背景に東北が1.01倍と高い。

完全失業率の推移（季節調整値：％、2013年5月まで）

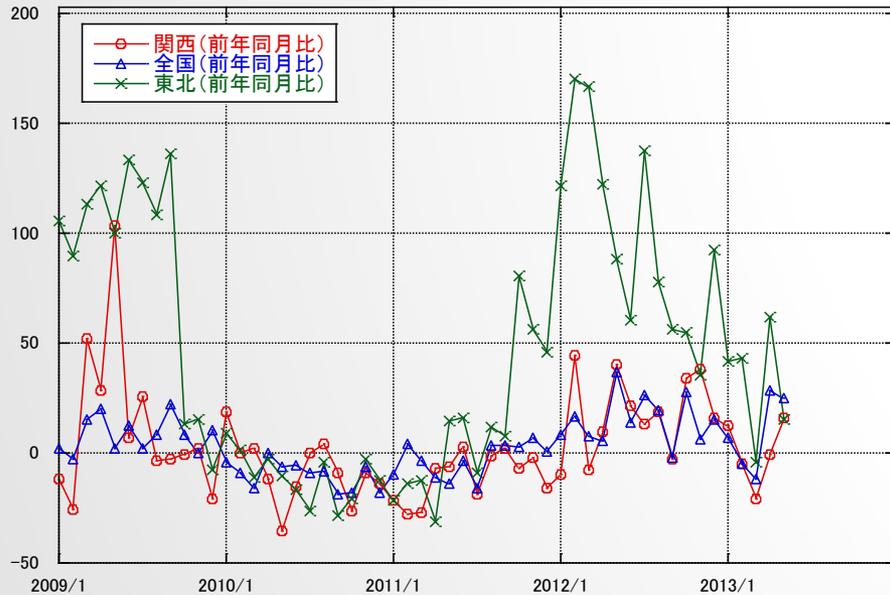


(出所) 総務省「労働調査」

- 5月の近畿の完全失業率（季節調整値：APIR推計）は4.4%と前月から+0.2%ポイント上昇し、4カ月ぶりに悪化。
- 5月の近畿の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は44.7万人。前月から0.7万人の増加。
- 5月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.1%。前月の水準を維持。

# ～公共投資～

公共工事前払保証額(前年同月比：%、2013年5月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 「公共工事前払金保証統計」(平成25年5月分、6月15日発表)、東日本建設業保証株式会社

- 5月の関西の公共工事前払保証額は1,727億円となり、前年同月比+31.4%と2カ月連続のプラス。
- 全国では1兆842億円と、同+24.8%と2カ月連続のプラス。
- 東北では1,392億円と、同+15.3%で2カ月連続のプラス。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、5月の受注は関西、全国とも前月比で2カ月連続の増加(関西：+51.3%、全国：+17.0%)。

建設工事(前年同月比：%、2013年4月まで)

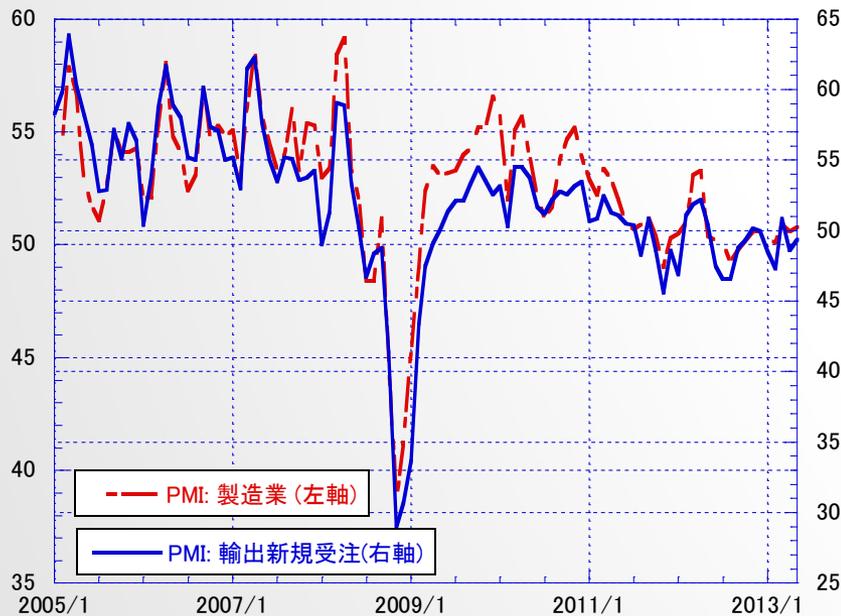


(出所) 国土交通省「建設総合統計」(平成25年4月分、6月17日発表)

- 関西における4月の建設工事(民間+公共)は4,217億円。前年同月比+5.0%と12カ月連続のプラス。
- 東北の建設工事は3,693億円で、同+14.4%と21カ月連続のプラス。しかし、拡大幅は昨年5月をピークに縮小。
- 同月の全国の建設工事(公共)は1兆2,564億円で同+11.3%と15カ月連続のプラス。

# ～中国経済動向①～

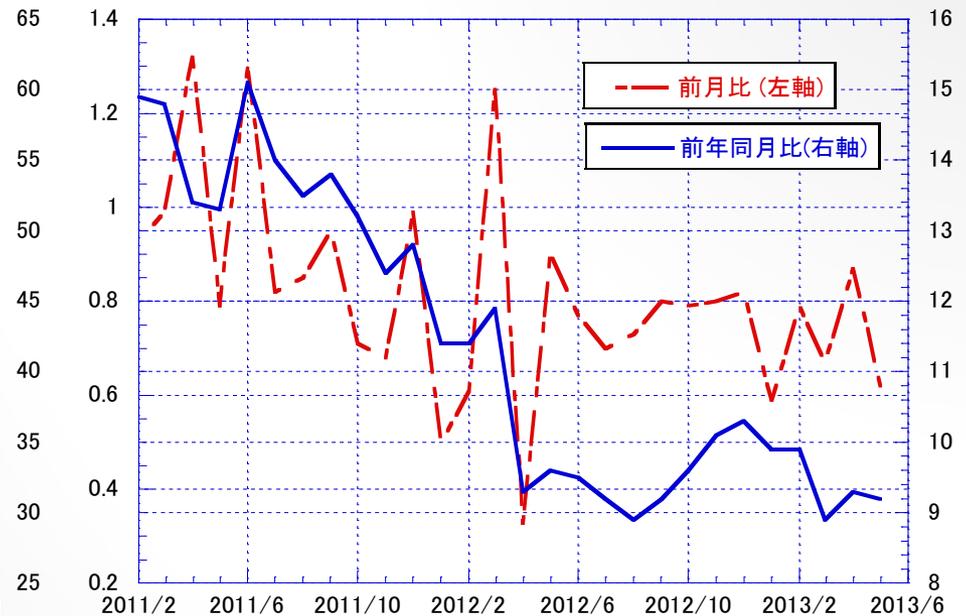
中国購買担当者景況指数(2013年5月まで)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 5月の製造業PMI(購買担当者景況指数: 季節調整値)は50.8となり、前月から+0.2ポイントの上昇。
- 生産指数と新規受注指数はそれぞれ53.3と51.8になり、いずれも4月(52.6, 51.7)より上昇。
- 輸出新規受注は49.4となり、4月(48.6)より幾分上昇したが、依然50を下回るレベルが続いている。

工業生産動向(2013年5月まで)

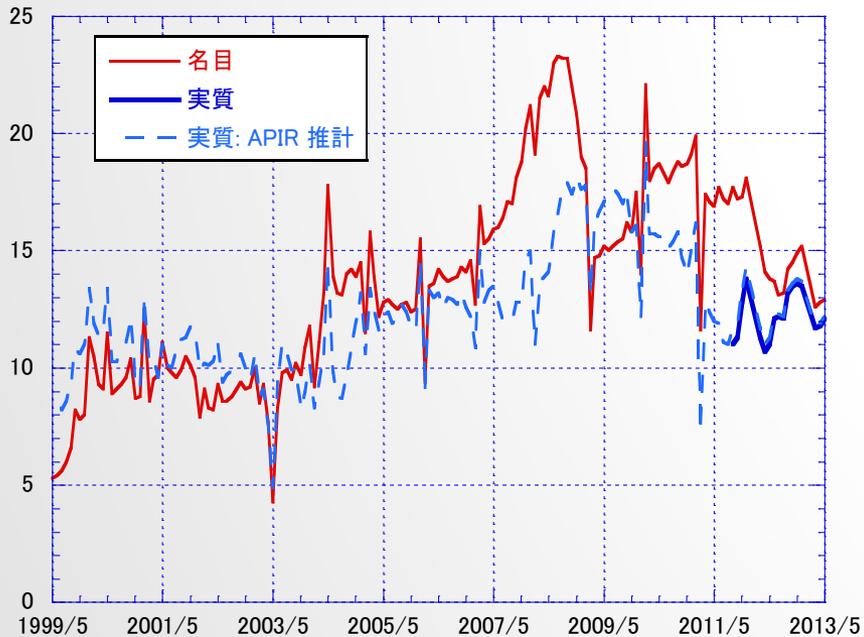


出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 5月の工業生産は前月比+0.6%と4月より低下した(4月: +0.9%)。
- 前年同月比においても、5月は+9.2%となり、4月(+9.3%)よりやや低下した。

# ～中国経済動向②～

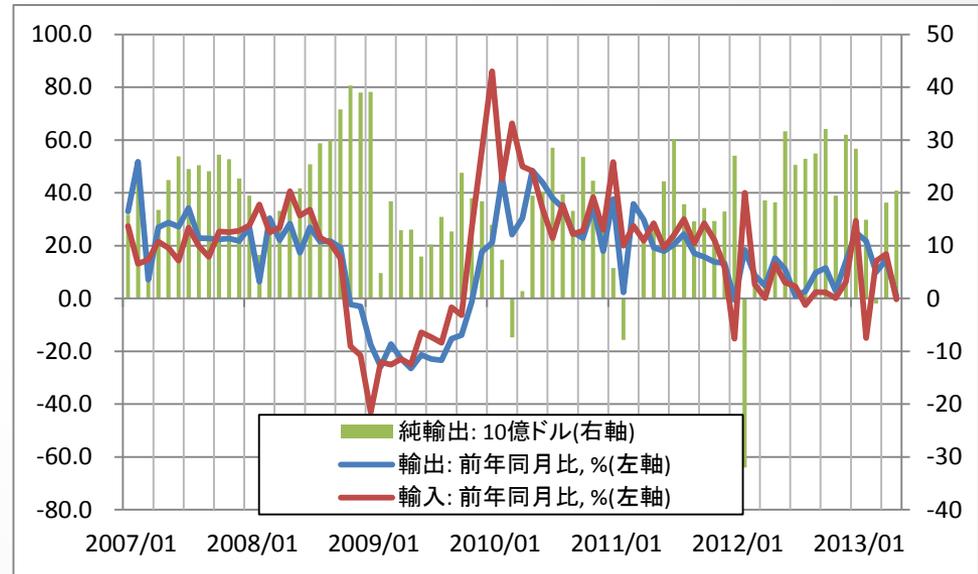
社会消費品小売総額 (2013年5月まで: %)



出所：中国国家统计局;CEICデータベース

- 社会消費品小売総額の成長率は、5月に実質+12.1%、名目+12.9%となり前月から幾分上昇(4月は実質+11.8%、名目+12.8%)した。
- 減速する投資(固定資産投資)に比べて、消費は比較的好調である。

中国の輸入・輸出(2013年5月まで; 前年同月比)



出所：中国国家统计局;CEICデータベース

- 中国の輸入・輸出額の増加率(確定値; 前年同月比)は、5月に輸出+1.0%、輸入-0.3%となり、いずれも前月より大幅に伸びが低下した。
- 先月輸出新規受注PMIの現状より懸念された輸出の減速が現実となり、先行きは不透明である。